



# 昭和59年度川崎体協総会

## 八、三四四、六七七円の予算を承認

### 同時に昭和58年度優秀選手賞授与

川崎市体育協会の昭和59年度総会（理事会・評議員会）が去る4月26日午後4時より幸文化センター第一三三会議室において開かれ各種議案が提案され承認された。

川崎市体育協会は現在25種目の団体が加盟し、伊藤三郎市長が会長に就任し、63名の役員が運営に当たっている。主要行事は次の様に発表された。先づ春季市民大会は軟式野球・サッカー・軟式野球・体操等で参加総数三千名市制記念市民体育大会は剣道・テニス・弓道・軟庭・柔道・バレーボール・バスケットボール・相撲・陸上競技・バトミントン・軟式野球等で参加人員六千名を数へた。秋季大会は体操以下46チーム五千名の選手が参加し「スポーツ川崎」のスポーツに対する関心の深さが伺はれる。其の他の市長杯争奪大会は卓球・水泳・少林寺拳法・スケート・ス

キー・市民登山・子供相撲等に二千名の選手が参加している。また、本協会はスポーツ少年団の各種目の指導強化を計っている。又普及活動の一環として日本赤十字救急法講習会・学童泳力記録会・体育レクリエーション大会・川崎市民祭の参加・武道演武会・スポーツ教養講座を開講している。その他本協会は県総合体育大会・国民体育大会・郡市対抗駅伝競走大会・三浦半島駅伝競走大会等に参加してきた。今年度県下と国体は昨年と比較して若干団体競技の成績が落ちた今年度本協会で優秀な成績で表彰を受けた方々は次の通りであった。

高橋昌洋 36才 優勝  
（全日本実業団弓道大会）  
秋山昌子 22才 個人優勝  
（全日本実業団弓道大会）  
木村恵子 24才 優勝  
（全日本社会人軟庭大会）  
大本千恵 23才 優勝  
（全日本社会人軟庭大会）  
山崎大世 23才 一位  
（全日本実業団水泳400米）  
上野雅好 25才 一位  
（右大会100M・200M平泳）  
阿部辰夫 25才 二位  
（右大会100M平泳）  
永田竜司 17才 一位  
（国民体育大会400Mメドレー）

国体の部  
東芝柳町女子バスケット部  
（全日本総合女子準優勝）  
科学技術学園高校卓球優勝  
（全国高校定時制通信卓球）  
科学技術学園高校野球優勝  
（全国高校定時制通信野球大会）

これら優秀選手表彰は魚津賞と云い、長年軟式庭球協会々長として多大の功績を残し、昭和51年4月逝去された魚津利氏の家族の御寄付金の御厚志を基金として、毎年全国大会に優秀な成績を残された人々を表彰しているものである。なお当日川崎市体育協会々長である伊藤市長と総会の席上次の通り理事との質疑が行はれ、体育行政に対し絶大なる努力がうかがわれるがさらに体育行政の充実されることをスポーツを愛する者の一人として強く要望する次第である。

湯田坂理  
事より体育館を市長は近々等々力緑地あたり建設されるとの事であるが、現在相模原・横須賀・横浜港南の各体育館の諸設備の優秀な設備を採用するようとの発言  
・浅野理事より現在着工中の幸体育館の要望する。建設が行われているが、体育指導者の専門家がほとんど参



昭和59年度川崎市体協総会  
伊藤三郎会長（市長）を囲んで

今年度予算は、八百余万円であるが、その内市助成金は四六〇万円、他都市の藤沢・茅ヶ崎・相模原市の一人宛の補助金額に比較して少い状態であるので、体育協会の組織確立のため増額を



## 昭和59年度 種目協会の行事予定

## — 陸上競技協会 —

6月3日 第4回記録会 等々力  
 7月1日 市制60周年記念陸上競技大会 //

9月2日 第35回川崎市陸上競技選手権 //

10月10日 市民マラソン兼スポーツ教室 //

## — バドミントン協会 —

5月27日～春季市民大会(団体戦) いすゞ体育館

8月19日～市民記念大会(個人戦) 川崎市体育館

9月23日～創立記念大会(団体戦) いすゞ体育館

## — 卓球協会 —

5月27日 国体卓球競技市予選会 川崎市体育館

6月10日 県総体卓球競技市予選会 //

7月21日～市制記念市民大会 //

9月8日 川崎高校選手権大会 //

## — 相撲連盟 —

7月22日 市制記念相撲大会 川崎市営相撲場

10月10日 川崎市秋季市民相撲大会 //

## — テニス協会 —

6月16日～都市対抗県予選会 川崎富士見コート

6月23日～市制60周年市民テニス大会 //

8月25日～川崎市事業所大会 富士見・等々力

9月18日～全国レディース県予選会 等々力コート

## — 体操協会 —

8月 体操教室

9月2日 秋季市民体操競技会 川崎市体育館

## — 柔道協会 —

7月22日 県総体川崎地区予選会 石川記念武道館

8月12日 形講習会 昇級昇段 //

9月16日 柔道教室 資格審査 //

10月7日 形講習会 //

14日 秋季市民総合体育大会 川崎市体育館

## — 弓道連盟 —

6月17日 月例弓道大会・弓道教室 川崎市営弓道場

7月1日 市制記念弓道大会 //

8月19日 月例弓道大会・弓道教室 //

9月16日 // //

10月10日 体育の日弓道教室 //

## — 軟式庭球協会 —

7月8日～市制記念市民体育大会 川崎富士見コート

9月15日 第19回市民B・C級大会 //

第4回市民女子軟式庭球大会 //

9月23日 第24回市民チーム対抗大会 等々力コート

10月7日～秋季市民総合体育大会 富士見コート他

## — ハンドボール協会 —

6月24日～夏季大会兼市制記念大会 市立川崎高

9月30日～秋季市民大会 県立多摩高

## — 野球協会 —

6月10日 第1回全日本選抜少年野球大会 桜川球場

6月18日 市長杯選抜兼第39回国体軟式野球成年の部大会 大師球場

6月24日 第39回国体軟式野球少年の部 桜川球場

7月8日 第14回関東少年野球大会 //

9月4日 市長杯選抜市民軟式野球大会 大師球場

10月10日 第15回市野球教室 大師・等々力球場

# 昭和58年度冬季

## 蔵王国体視察記

第三十九回国民体育大会冬季大会スキー競技会は2月23日山形市蔵王スキー場で開幕した。

全国からやって来た、雪の精鋭を歓迎するかのようには。ひとしきり雪が降り続く県道上競技場に、初出場の沖繩県を含め、四十五都道府県、参加選手、役員、約一千九百人が午後二時、ファンファーレが鳴り渡り、国旗、大会旗を先頭に、北海道選手団から入場、我が神奈川県選手団は十三番目にアイボリーのユニホーム姿で、高橋謙吉選手が掲げる団旗、羽根木喬副団長を先頭に四十五名が雪やけた顔、闘志を胸に秘めての行進である。

行進曲は開催地にふさわしい「花笠音頭と紅花摘み歌」の二曲の民謡を行進曲にアレンジしたものでした。競技は二十四日よりアルペン、ジャンプ、クロスカントリ

バイヤスロンの四種目を各会場に分けて行われました。アルペン競技は本県でも特に期待された種目であったが

天候に恵まれ選手も思い切りレースができたと思います。シードの悪い後方からのスタートにもかかわらず、結果としては関、池田、榎並が十四位、岡本十七位と健闘した。

もしスタート順が良ければタイム的には入賞可能な選手が数名出たのではないかと思います。北海道・長野・地元山形が

が然強く雪国の力の差を見せつけられた。クロスカントリ一種目も同じ結果であった。大会会場・コースともに良く整備されて、観光地を背景にくりひろげられた大会だけに盛り上が素晴らしかった。

最終日二十六日閉会式も無事に終る。「来年の片品国体(群馬県)」で再会を誓い合

スキー競技天皇杯  
得点第九位

### 第35回県総合体育大会 冬季大会スキー競技会

本大会は三月二日(金)〜四日(日)まで三日間、長野県戸隠村管スキー場で行なわれた。土田団長他役員四名と、選手はアルペン八名、ノルデック五名、計十八名が参加した。県下十七郡市、百八十五名で県総合体育大会が行われた。

今年は何年にもない豪雪でコンディションもまずまずでした。一日目、合同トレーニングを実施、夜に開会式及び監督者会議が開催された。

二日目、回転競技は女子の部、榎本千恵子(川崎スキー第四位) 壮年の部A川村一広(スキーコンパニオン第六位) 同部B中川俊三(昭和電工第六位) 成年の部浦島秀明(日本鋼管第二位) 距離競技は菅正敏(いすゞ第四位) 辻保行(日本鋼管第六位) とよく頑張りました。しかし大量得点とはならず、一位横浜二位相模原は不動で三位以下

がまったく予測できない大変な競り合いとなった。横浜の強みは女子の部、第一二位を独占し、相模原には距離競技で第二位・三位と上位を独占され、残念ながら第一日は惨敗に終わった。三日目は大回転競技とリレー競技の二試合が行われた。壮年の部A川上剛(いすゞ第三位) 同川村一広(スキーコンパニオン第五位) 成年の部浦島秀明(日本鋼管第一位) と一矢を報いる事ができた。リレー競技は堀部敏男(いすゞ) 辻保行(日鋼) 菅正敏(いすゞ) の三選手がよく頑張った。成績、結果は総得点で横浜が二位相模原を大差で連続優勝しました。

川崎市第三位(得点八十五点)、四位秦野市の順で第一日目の苦戦が幸し選手諸君の努力で有終の美を飾ることができた。

当初、四十名の定員で募集したところ、百名余の受講者が出席し、終始、熱心に聴講し、主催者のあいさつをした市体協副会長中野一雄氏も盛況振りに驚いていた。



### スポーツ教養講座

宇佐美彰郎(東海大学助教)氏来たる



川崎市体育協会主催、川崎市民スポーツ教養講座は、三月二十二日(木)午後六時三十分から、産業文化会館第四会議室で、熱心なマラソン愛好家を中心に百名の市民が参加した。

広くスポーツに関する今日的な話題性のあるテーマを講演会形式の講座で開催し、市民スポーツの普及とスポーツ理論の確立のため、例年本協会が実施するものであった。

五十八年度は、講師にマラソンランナーとしてご存知の宇佐美彰郎氏を呼んで、「マラソンの科学的トレーニング方法」と題して、トレーニング計画のたて方、長距離走の練習上の基本を実践をおして系統的にお話しいただいた。

当初、四十名の定員で募集したところ、百名余の受講者が出席し、終始、熱心に聴講し、主催者のあいさつをした市体協副会長中野一雄氏も盛況振りに驚いていた。

### 市長杯争奪

#### アイスホッケー大会 とスピード大会

二月二十六日挙行予定の市民スピード大会は、当日の降雪により交通機関が途絶したため三月二十五日午後六時より向ヶ丘遊園地スケートリンクに於て74名の参加の下に行われた。

各部門毎に賞状賞品を贈り小学生部門は特に明年度いつ開催されるのかと熱心な質問を受けた。部門別優勝者は次の通りである。

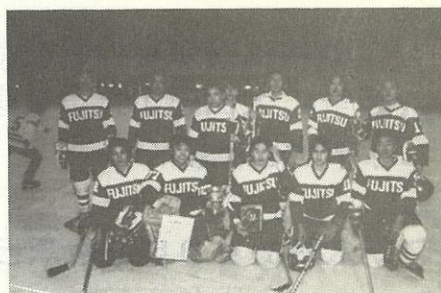
- 二〇〇米小学低学年 今井 英人
- 同 高学年 富高 単司
- 同 女子 稲葉かおり
- 同 女子 浦辺 葉子
- 四〇〇米小学低学年 今井 英人
- 同 高学年 富高 単司
- 同 女子 稲葉かおり
- 同 女子 浦辺 葉子
- 五〇〇米中学三年男子 榎園 義成
- 同 女子 今井 理恵
- 五〇〇米一般・高校男 青木 宏之
- 同 女子 稲葉恵美子

#### 一〇〇〇米中学男子

- 滝本 英昭
- 同 女子 今井 茎美
- 同 一般高校 青木 宏之

#### 実業団の部

- 五〇〇米 東急 佳園 志
  - 一五〇〇米 東急 林 岳史
  - 三〇〇〇米 東急 林 岳史
- 最近各事業場共、新規採用の減少と、予算の減額とによって、新選手が入社しないためか低調であり、なげかわしい次第である。スケート場の数少ないのと、料金も高く少々の小遣いでは充分な練習も出来ないと伝うのが本音でなからうか？スペースの都合上タイムの記録を割愛した。



富士通チーム

市長杯争奪アイスホッケー総合リーグ戦は去る二月三日より三月二日までの一ヶ月間リーグ戦を行い、代表富士通・日本電気・荒鷲の三チームの代表リーグ戦によって優勝決定戦を行い富士通が次の成績で優勝した。

富士通 10	4	1	1	2	日	電	4	1	1	1	3	荒鷲
5	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	3
1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
2	日	電	4	1	1	1	2	3	荒鷲	5	荒鷲	

従来常勝であった荒鷲は練習不足で敗れた。

## 第二八回こども相撲大会

### 久末相撲クが昨年の雪辱、優勝

五月五日「子供の日」を記念して、第二八回こども相撲大会（主催・川崎市教育委員会、川崎市体育協会、川崎市相撲連盟、後援、川崎新聞社）が、五月晴れの川崎区富士見相撲場で盛大に開催された。

二五団体、二百五十人が参加し、元気なわんぱくっ子たちが、土俵にのぼり熱戦をくりひろげた。

団体戦は昨年、準優勝にあらまじた久末少年相撲クラブが、向丘小学校（昨年優勝）を、4対1でくだし、優勝旗を手中にした。

学年別個人戦では、四年の部で鈴木康志君（市ノ坪若草子供会）、五年の部で池田宣行君（久末少年相撲クラブ）六年の部で中沢幸盛君（同）がそれぞれ優勝を飾ったが、三連覇をねらった91キロの巨貫遠藤一亜君（宮崎台小）は惜しくも準決勝で破れて三位に終わった。

試合終了後、川崎出身力士春日野部屋の絹川（富士見出身）と九山（渡田中出身）が、豆力士に指導相撲を披露した。

- ◎団体戦
  - 優勝 久末少年相撲クラブ
  - 準優勝 向丘小学校
  - 三位 宮崎台小学校
  - 四位 東住吉小学校
  - 大師小学校
  - 向子供相撲クラブ
  - 京町小相撲同好会
  - 浜町一丁目相撲クラブ
- ◎個人戦
  - 四年の部
    - ①鈴木康志（市ノ坪若草子供会）
    - ②小林敏之（南河原小）
  - 五年の部
    - ①池田宣行（久末少年相撲クラブ）
    - ②倉持 道（鋼管二丁目相撲クラブ）
  - 六年の部
    - ①中沢幸盛（久末少年相撲クラブ）
    - ②岡村安則（向子供相撲クラブ）

ス ポ ー ツ 今 昔

165 キロに熱戦展  
開自転車駅伝競走  
湯ヶ原 — 川崎間

春弥生、桜のほころぶこの  
 神奈川新八景巡り、自転車駅  
 伝競走は、全国に先がけて実  
 施されたものである。永い冬  
 の眠りからさめた相模の広野  
 を早春の香りを満喫しながら  
 力走する選手諸君と、無事故  
 完走を願う役員との渾然一体  
 の大会が次の様に開かれた。

昭和26年3月26日、神奈川  
 県実業団体育連と神奈川県自  
 転車競技連盟共催の下に行わ  
 れた。戦後「競輪」と云うギ  
 ャンブル熱に乗って自転車熱  
 が盛んになり、アマチュア選手  
 が団体や、オリンピックにも  
 参加すると云う状況になった  
 ために本県自転車競技連盟平田  
 忠心理事長と、実体連浅野事  
 務局長と再三に亘る協議の結  
 果第一回大会を開催すること  
 に至った。

先ず、コースは神奈川新聞  
 社選定の新八景巡りの湯ヶ原—  
 小田原—二宮—秦野—水郷田  
 名—逗子—横須賀—神奈川新  
 聞社前を連ねた。165Kmのこの  
 自転車駅伝は本県の華やかな  
 駅伝最後の早春を飾るもので  
 あり、走破する自転車大総巻  
 であった。本大会に久野実体  
 連会長杯、平田理事長杯、神  
 奈川新聞杯が各々寄贈された。

第一部事業場対抗、第二部  
 都市対抗戦として行われたが  
 本大会には各自転車製造メー  
 カーより懸賞賞品の自転車等  
 多数の寄贈があり、当時の神  
 奈川新聞紙上に応募された総  
 数二八〇〇余通と発表されて  
 いる。投票順位は

一 藤沢輪業 一六一票  
 二 日本鋼管 九二票  
 三 大塚商会 八二票  
 四 小田原局 七七票  
 五 平塚新聞 六五票  
 六 昭和電工 五八票  
 七 陰山輪業 五八票  
 八 富士松旅館 五八票

以下略  
 県下新八景めぐり自転車駅  
 伝をますます盛上げ県民の自  
 転車駅伝に寄せる期待は大な  
 るものがあつた。(次号に続く)

銀輪は飛ぶ春の観光地  
 競争、大山連山背景に選  
 手の力闘は続く

新八景めぐり自転車駅伝



昭和59年度  
 川崎市体育協会広報委員名簿

№	委員名	〒	住 所	備 考
1	浅野 浩志 (スケート協会)	210	幸区幸町 2-691	委員長
2	上野 富夫 (剣道連盟)	210	宮前区向ヶ丘 1240 ~66	委員
3	名取 治昭 (バスケットボール協会)	247	鎌倉市岩瀬 743-1	同
4	神山 力 (卓球協会)	211	中原区上小田中 663	同
5	山本 信義 (スキー協会)	230	鶴見区栄町通り 4-46 -5	同
6	小嶋 創 (水泳協会)	213	高津区新作 100-8-7 新城コーポ 402	同
7	篠原 房高 (テニス協会)	210	川崎区藤崎 2-3-10	同
8	谷 口 浩 (サッカー協会)	211	中原区上丸子山王町 1-1434 栗山荘 2-3	同
9	青木 一夫 (バドミントン協会)	210	川崎区鋼管通り 3-16-17	同

去る5月26日の体協総会に  
 おいて「スポーツ川崎」編集

委員の改選も併せて行われ、  
 次の如く決定した。

投稿を歓迎します

本誌編集部では、市民の皆様  
 のご意見を掲載し、それに対  
 し体育専門家のご意見を掲載  
 したいと存じます。体育に関  
 する施設、利用方法、運営、  
 計画立案等何でも結構です。  
 ご投稿をお待ち致しております。

編 集 後 記

昭和五十九年度の川崎市体協  
 の総会が行われ、機関誌にそ  
 の現況報告を掲載するため大  
 変遅れて発行致しました。

今年度川崎市協会長である  
 伊藤三郎市長より体育に対す  
 る情熱と、やらなければなら  
 ないとの力強い発言があり、  
 役員一同よし市長がそれほど  
 まだに我々体育愛好者に惜し  
 みなく尽力をされる、その誠  
 意に感激を新たにして総力を  
 結集しようとする、誓い合う  
 姿がみられた事は喜ばしい第  
 一である。